

きど たつや
15. 木戸 達也さん



有限会社丹羽林業
造林・保育、造材事業

〒059-1374
厚真町字豊丘269-8

年齢 38歳
勤続年数 2年

就業のきっかけ

出身は厚真町です。厚真小・中学校を卒業後、札幌の高校に進学しました。

旅が大好きで大学在学中に自転車で北海道から沖縄まで走破したのですが、その途中で立ち寄った神奈川のラーメン屋のマスターに惹かれて就職しちゃいました。その方は元気にあふれ、パワフルな人でした。ここでは、マスターが新しい店舗を開店させたのを機に、自分が元の店を引き継ぎ、2年間ほど働きました。ラーメンについて学んだ後、色々な仕事をし、5年前の33歳の時に厚真町に戻りました。

厚真町では自動車の部品工場に勤めましたが契約期間が2年11ヶ月と決まっていた、更新する時にいろいろ考えたのですが、元々、山菜採りや釣り、キャンプなどのアウトドアが好きだったので自然に触れ合える「林業」がしたいと思い至り、丹羽林業さんにお世話になることになりました。

仕事内容

チェーンソーを使用した造材作業を担当しています。伐倒をして、枝払い、採材し玉切りを行っています。

仕事のやりがい

最初はやっぱり素人なのでうまくできないです。でも、例えば、思いどおりに木が倒れてくれたり、チェーンソーの刃を目立てしてよく切れるようになったりとか、だんだんと上達していることが実感できるのがやりがいですね。経験を積んで、スキルアップしてきているのを実感できることです。

【チェーンソーのメンテナンス】



【伐倒方向の確認】



胆振の魅力

一度地元を離れて暮らして戻ってきて分ったのが、やっぱり地元の厚真町の畑などの風景を見たときに、落ち着くというか、癒やされるといふか、魅力といふかそう感じました。

林業に興味を持っている方へメッセージ

林業の仕事って楽しいなって思うので、都会に疲れたら自然の中で仕事をするのもいい事だと思うんです。是非、自然の中で心も体も癒やされて下さい。

仕事の大変なところ

夏場は暑さが大変です。木があれば日陰がありますが、伐倒した後だと木がなくなってしまうので。

ただ、街の暑さとは違いますね。街はコンクリートの照り返しといふか、そういう暑さがあると思いますが、森だとちょっとした風でも涼しさを感じます。